親子就業体験「うわ～きっず」

フジイコーポレーション

社会貢献活動が評価

最優秀賞の文科大臣賞

フジイコーポレーション（藤井大介社長）は、「令和2年度青少年体験活動推進企業表彰」で最優秀賞の文部科学大臣賞を受賞した。この表彰は2013年から開催され、社会貢献活動の一環として企業が行う青少年の体験活動に関する優れた実践を表彰し、青少年の体験活動の推進を目的としたもの。3月12日の最終審査には同社を含む12社が参加した。

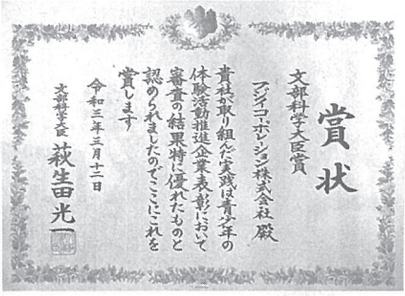
今回フジイコーポレーション＝新潟県燕市小池＝が表彰されたのは、2015年から開催している親子（小学校3～6年生）で就業体験を行う「うわ～きっず」。「うわ～きっず」では、子供たちが除雪機を製造している本物の工場で製造に携わる。子ども達が携わるのは組立や部品の準備などの軽作業。普段工場で除雪機を製造している社員が子供たちに仕事の仕方を指導する。子ども達は仕事が終わると、お給料として「うわ～きっずマネー」をもらい、その給料でお昼のお弁当やジュースなどを購入するという仕組み。働いて賃金を得ることで労働の楽しさ、大変さなどを体験できる。

工作機械は子どもでも手の届く位置に

モノ作りに取組む姿勢は真剣そのもの

3月12日に開催された最終選考会・表彰式では「子供たちが工場での生産体験を通して仕事の楽しさ、大変さ、辛さを経験し、仕事を持った大人の生きざまを学習できる」と講評された。

同社では、今回の受賞について、「この受賞は後援や協賛をいただいている皆様や地域の方々あってのことです。弊社はSDGsの前進であるMDGsから次世代の教育、環境保護などに取り組んでいます。次世代の子供たちが、暮らし続けられる持続可能な世界を維持し、明るい未来を描ける社会になるよう助力していくことが地場企業の務めだと考えております。弊社では、この「うわ～きっず」をSDGs「4・質の高い教育をみんなに」のターゲット4・7を達成するためのSustainable actionとして継続していきます。これからも地域社会への貢献、子供たちの教育及び社員の成長の機会に取り組んでまいります」としている。



賞状

文部科学大臣賞

フジイコーポレーション株式会社殿

青少年取り組み実践は青少年の体験活動推進企業表彰において審査の結果特に優れたものと認められましたのでここにこれを賞します

令和三年三月十二日

文部科学大臣　萩生田光一

フジイコーポレーション以外の受賞企業は次の通り。

カッコ内は対象となった事業。

▽KDDI㈱（「KDDI　草木と森のいきもの図鑑」）▽㈱ニチレイフーズ（ニチレイフーズ独自の「ハミダス活動」）▽日本ハム㈱（日本ハム「ウインナーの手作り体験教室」）▽東日本電信電話㈱（「見る、楽しむ、考えるスポーツ研究所」ICCキッズ・プログラム2019）▽㈱丸協酸素商会（液体窒素を使った化学実験）▽森ビル㈱（ヒルズ街育プロジェクト）▽サントリーホールディングス㈱（サントリー水育「森と水の学校」～未来に水を引きつぐために～）▽日鉄エンジニアリング㈱（情熱・先端Mission－E（中学・高校生向けのエンジニアリング教育プログラム））▽阪急阪神ホールディングスグループ（「阪急阪神　未来のゆめ・まちプロジェクト」小学生向けキャリア教育プログラム）▽森永製菓㈱（森永リトルエンゼル育成プログラム「チャレンジ！サイコー冒険隊」）▽ユニリーバ・ジャパン・カスタマーマーケティング㈱（ダヴ「大好きなわたし～Free Being Me～」ワークショップ）。

Fuji